

『集団の一員としてよりよい人間関係を築く』

藤枝市立青島北中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> 1年生を迎える会 (合唱、学校紹介：歓迎) ちょこっとボランティア(ちょボラ) (年間) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級開き 「出会い」を大切にし、支え合う 集団づくりを目指す。 人間関係作りプログラム 	職員会議 (ピア・サポートの 共通理解)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会(団決め) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の良さに気づき、紹介し合う ことでお互いの良さを知る。 上級生から下級生が望ましい姿、 態度を身に付ける。 	職員会議 (人間関係づくり プログラムの紹介)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 青北小でのあいさつ運動 「Good job!自分」紹介 ポラリスタイム 縦割り交流会(合唱) 	あいさつ運動	職員会議 (ピア・サポートの 紹介)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 縦割りタイム(合唱等) 		
8月	← 夏休みしかできない充実した体験をしよう →	人間関係作りプログラム	
9月	<ul style="list-style-type: none"> コーラスフェスティバル 「Good job!〇〇さん」紹介 	<ul style="list-style-type: none"> コーラフェに向けての練習 行事の振り返り 学校生活の中で友達・先輩の良さに 気づき、伝える。 	職員会議 (SST やエンカウ ンターの紹介)
10月	<ul style="list-style-type: none"> スポーツフェスティバル →スポフェに向けて団練習 学校保健委員会 	<ul style="list-style-type: none"> スポフェに向けての練習(クラ ス・団) 行事の振り返り 学校保健委員会 	
11月			
12月	<ul style="list-style-type: none"> 人権週間(人権作文等を放送で紹介) 生徒会企画(北中キラビとの紹介) 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> 新入生説明会(小中連携) 	人間関係作りプログラム	
2月		<ul style="list-style-type: none"> 小学生との交流で温かいピア・サ ポートの気持ちをもつ。 人間関係づくりプログラム 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ファイナルコンサート 3年生を送る会 「Good job!先輩」紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生への感謝の気持ちを伝える。 温かな雰囲気です1年を振り返る。 (学級、学年、学校) 	職員会議 (SST やエンカウ ンターの紹介)

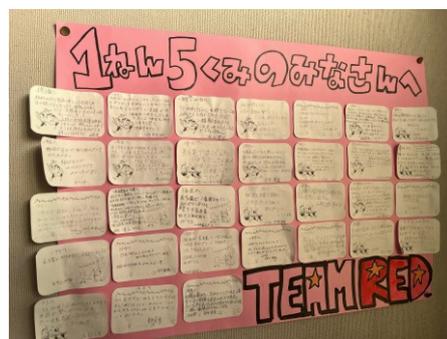
1 本校のピア・サポート

青島北中学校は学校教育目標を「自ら求め成し遂げる」自求成遂（じきゅうせいすい）としており、開校当時から41年目を迎える現在まで、在校生のみならず教職員や保護者、地域の方々にも浸透している大切な言葉となっている。そして、「自ら求め成し遂げる」生徒の育成のために本年度から掲げられたのが、「自ら考え、共に創る - Challenge & Respect - 」という重点目標である。達成に向けて、「自己決定（自己理解）」「かかわり合う（他者理解）」「成長を実感する（自己実現）」場面を意図的に設定していき、生徒の成長を促したい。そのような取組の基盤の一つとなっているのが、ピア・サポートの考え方とその実践である。令和7年度においては、特に「自己決定・自己選択」の機会を意図的に増やし、学校生活の中で生徒が自ら判断する場面や、生徒同士が相互に関わる場면을意識したピア・サポート活動が実施された。

2 本年度の取組

（1）授業において

総合的な学習の時間における「Good job! ○○」。スポーツフェスティバルやコーラスフェスティバルといった縦割り集団での行事終了後、同じ団に所属する下級生から上級生へ、また上級生から下級生へと、集団活動を通して気付いた互いの長所を伝え合う「Good job 活動」を実施した。学年の枠を越えて生徒同士が主体的に支え合えたことを、感謝の気持ちとともに相手に伝えることで、相互の認め合いを深めることができた。



（2）特徴的な活動

○北中キラびと紹介・特技発表会 <提言7>

生徒それぞれの特技や趣味を発表し合あうことを通して、互いの個性を認め、尊重する意識を育み、生徒一人一人が生き生きとした学校生活を送ることを目指して行った。校内放送や全校の前で発表する機会を設けることで、互いの努力を認め合い、応援し合う関係性を構築し、生徒相互に良い刺激を与え合うことができた。さらに、他者が真剣に取り組む姿に触れることで、「自分も努力したい」「新たなことに挑戦したい」と感じる契機とすることができた。

○自求清掃 <提言6>

本校では昨年度から「自ら求め成し遂げる」生徒の育成のため、清掃開始時の黙想と挨拶から、清掃後の黙想、反省、挨拶までを生徒自ら進行して行う「自求清掃」を行っている。年度初めには、各清掃場所に清掃スペシャリストを配置し、清掃方法がわからない下級生に上級生が掃除の仕方を直接教える活動を取り入れた。下級生が上級生の姿に刺激を受け、真剣に自求清掃に取り組んでいる姿を見ることができた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

本年度は、生徒に主体的に任せ、生徒が中心となって取り組むことを重視した活動が多く見られた。来年度においても、今年度の取組を継続しつつ、さまざまな教育活動の中で生徒自らが判断し選択する機会をさらに充実させ、「自ら求め、成し遂げる力」の育成を目指した教育活動を推進していきたい。その実現に向けて、ピア・サポート活動を計画的に位置付け充実させていきたい。